

---

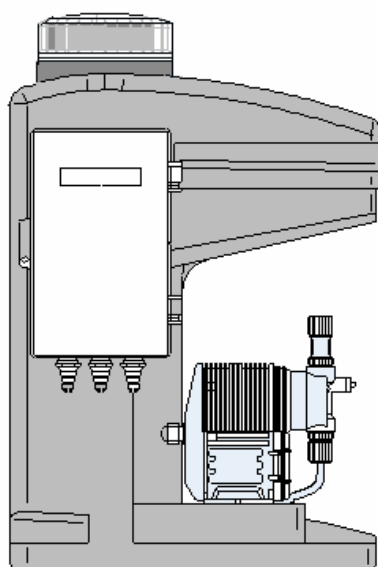
---

# TXN型 薬注セット

## 取扱説明書

---

---



ご使用前に必ずお読み下さい

### お願い

- 本取扱説明書は必ず使用される担当者の手元に届くようにご配慮下さい。
- 本取扱説明書に記載されている事項を熟読した上で、正しい取扱いをして頂き、機器の機能を十分に発揮させて下さい。
- お読みになった本取扱説明書はいつでも見られるところに、大切に保管して下さい。

 株式会社 トーケニ

取扱説明書番号 HE1-SY0708-00

## 目 次

---

1 安全にお使いいただくために	P	3
2 はじめに	P	4
3 装置の概要	P	4
4 仕 様	P	4
5 各部の名称	P	5
6 組立・設置要領	P	5
7 電気配線	P	6
8 デイリータイマーと薬注時間の設定	P	7
9 運 転 方 法	P	7

平成17年9月	HE1-SY0708-00	新規作成
新規作成・改訂年月	取扱説明書番号	新規作成・改訂内容

## 1 安全にお使いいただくために

本装置を正しく安全に取り扱っていただくため、この取扱説明書では安全に関する内容を次のように分けています。各項目を良く理解して頂き、必ず守って下さい。

**！《警告》** この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、重大な怪我や死亡につながる可能性のある事項を示しています。

**！〈注意〉** この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、機械・設備の破損など物的損害又は性能に重大な支障が起こることが想定される事項を示しています。

**(お願い)** 機器そのものの性能寿命確保のため、必ず守っていただきたい内容を示しています。

**(備考)** 補足説明を示しています。

### 〈取り扱い上の注意〉

#### **！《警告》**

- 子供や管理者以外の人の手にふれない場所に設置して下さい。
- 濡れた手で操作しないで下さい。感電の原因となります。
- 薬品の取扱いは薬品の性質をよく理解してから行ってください。また薬注ポンプや配管廻りの取扱い時には保護眼鏡・ゴム手袋等を着用した上で行ってください。
- 機器の分解・点検・修理を行なうときはコントロールボックスのメインブレーカを切り、電源を完全に遮断した上で行なって下さい。
- 感電防止のため、コントロールボックス内の充電部には絶対に手を触れないで下さい。また端子カバーは点検時以外は必ず装着して下さい。

#### **！〈注意〉**

- 本装置の操作・保守・点検は、この装置を十分に把握し運転指導を受けた人が行って下さい。
- 装置に異音・異臭・異常振動などが感じられたら装置を直ちに止めて電源を切った上で当社までご一報下さい。その上で、当社のアドバイスに従って点検整備を行なって下さい。

#### **(お願い)**

- 突然の装置の故障を未然に防止するため、本装置は最低限1年に一度はメーカーサイドによる定期点検を実施して下さい。

## 2. はじめに

この度はTXN型薬注セットを御購入いただきありがとうございます。この取扱説明書は、ご使用いただく場合の取扱い、留意点について述べてあります。誤った取扱いは思わぬ事故を引き起こしますので、ご使用前に必ず取扱説明書を一読され、正しくご使用下さいますようお願いいたします。なお、本説明書は、ご使用になるお客様の手元に届くよう御配慮をお願いいたします。

## 3. 装置の概要

TXN型薬注セットは、当社の標準製品であるTXN型薬注タンクとMP型薬注ポンプを一つのユニットに組み込んだ経済的な薬注セットです。タンクの容量と薬注ポンプの能力が種々選定出来るので、様々なシステムの薬品注入設備としてご使用いただくことが出来ます。

## 4. 仕様

### 4. 1 構成機器リスト

No.	名 称	仕様 及び 規格
1	薬液タンク	(有効) 25L/50L/100L, PVC 製
2	薬注ポンプ	MP型, または MPX 型 (レベルスイッチ付きの時)
3	レベルスイッチ (オプション)	FS 型レベルスイッチ
4	付 属 品	分解工具一式・取扱説明書 1 部

### 4. 2 薬液タンク仕様表

タンク型式	有効容量 (L)	備考
TX-25	25	
TX-50	50	
TX-100	100	

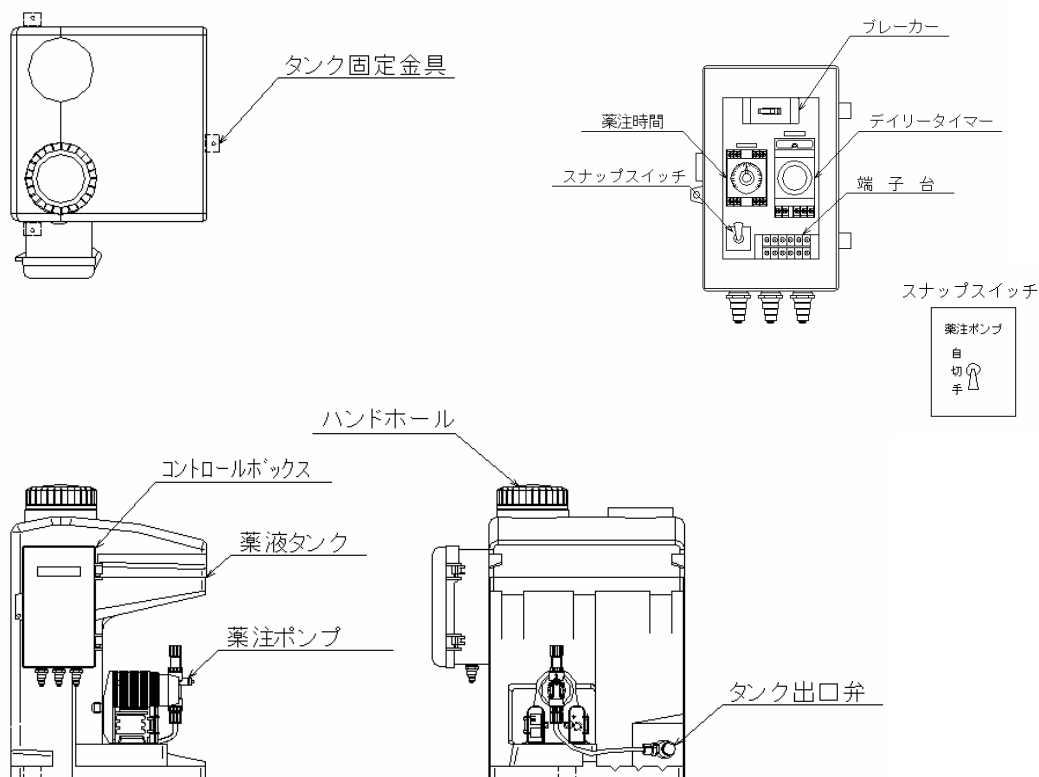
### 4. 3 薬注ポンプ仕様表

ポンプ型式	最大吐出量 (ml/min)	最高吐出圧力 (MPa)
MP-10	12	1.5
MP-20	24	1.0
MP-60	60	0.5

## 5. 各部の名称

[装置の外観]

[コントロールボックス内部]



## 6. 組立・設置要領

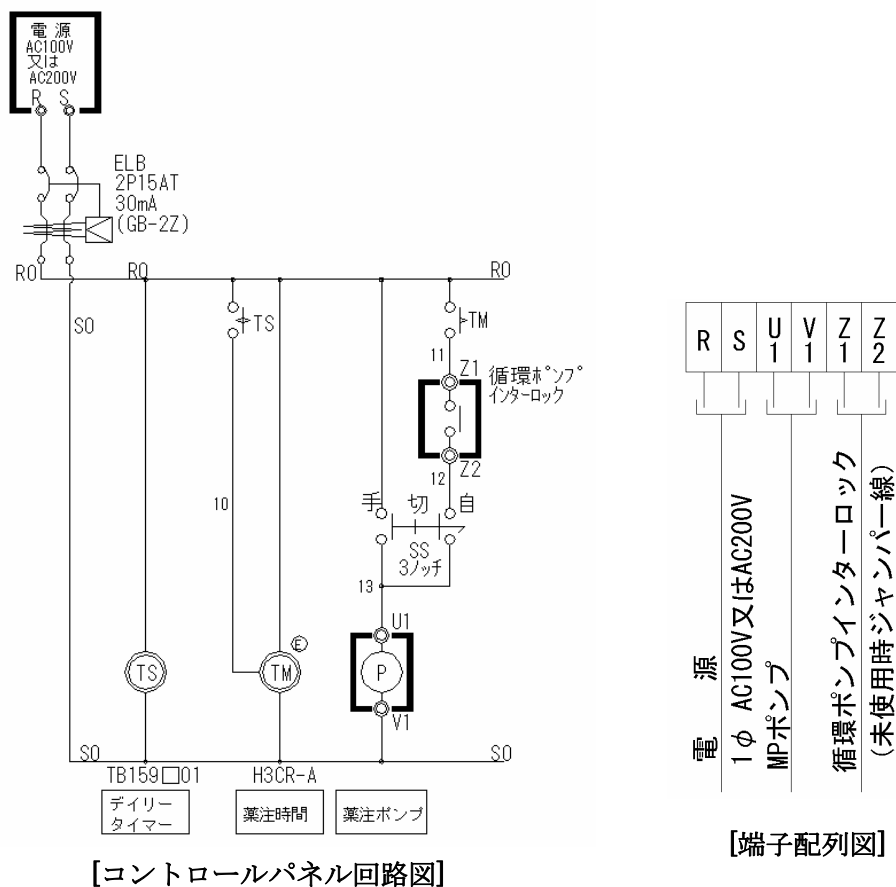
- (1) 梱包を開梱されましたら、御注文の品物と現品との仕様、並びに機器・取付ボルト等が揃っているか確認して下さい。
- (2) 次に平坦で強固な場所を選んで、薬液タンクを付属の固定金具（3セット）で固定して下さい。

**！ 〈注 意〉** 据え付け面が平滑でない場合は基礎面をサンダーなどで仕上げして下さい。突起物があると、タンク底面に穴が開き液が漏れる原因となります。

- (3) セット品の設置が終わりましたら薬注ポンプ配管（ホース）と電気配線（9項）を行ってください。配管要領は薬注ポンプの取扱説明書をご参照ください。

**（お願い）** 薬注セットの周囲は、四方に少なくとも 60cm 以上のスペースを考慮し運転・保持をしやすくして下さい。

## 7. 電気配線



【コントロールパネル回路図】

【端子配列図】

- ① 単相の AC100V または 200V を配線してください。

**！〈注 意〉** 感電防止のため、十分注意して接続配線してください。

- ② 端子“Z1-Z2”間は連動機器取り込み用の接続端子です。循環ポンプや、送水ポンプなどと連動運転を行う場合に使用します。入力接点は無電圧接点をご接続願います。出荷時にはジャンパーされていますので、使用する場合はジャンパー線を外してご使用下さい。
- ③ レベルスイッチ付き（オプション）の仕様はレベルスイッチの配線が直接ポンプの外部端子に接続されています。タンクレベル低下の警報が必要な場合は、ポンプの外部端子より取り出して下さい。

## 8. デイリータイマーと薬注時間の設定

### 【デイリータイマーの設定方法】

- ① 添付の取り扱い説明書に従って行って下さい。
- ② デイリータイマーのワンサイクルは 24 時間です。一つのツメで 15 分間動作し、1 日のツメの数は 96 個あります。
- ③ ツメは外側に倒せば“ON”になります。
- ④ 時刻は正確に合わせて下さい。

**（備考）** デイリータイマーは薬注時間の開始時刻を決めるタイマーですので、1つの設定で倒すツメは1つで充分です。

### 【薬注時間の設定方法】

- ① 添付の取り扱い説明書に従って行って下さい。
- ② 薬注時間の設定は 0.05 秒～300 時間まで任意に設定できます。
- ③ 右下の切替スイッチで時間単位を切替、左下のスイッチで目盛の数字を切替ます。

## 9. 運転方法

### 【自動運転】

- ① コントロールパネル内の漏電ブレーカを入れて下さい。
- ② デイリータイマー、薬注時間の設定を行って下さい。薬注量の設定は薬注ポンプのストローク数で微調整して下さい。
- ③ タイマーに従った自動運転の際は右下のセレクトスイッチを“自動”に入れてください。

**（備考）** 連動運転方式の場合は、連動機器が停止状態でもタイマー（薬注時間、デイリータイマー）はカウントされます。

### 【手動運転】

- ① コントロールパネル内の漏電ブレーカを入れて下さい。
- ② タイマーを無視した連続運転を行なう際にはセレクトスイッチを“手動”に入れてください。

### 【運転停止】

コントロールパネル内の漏電ブレーカを切るか、セレクトスイッチを“切”の位置にしてください。

### （備考）

- 標準型タンクには、レベル警報装置は取り付けていませんので、日常、液面計を目視により確認し、低レベルになる前に新たに薬液を補充するようにして下さい。
- レベルスイッチがオプションで取り付いている場合は、薬液タンクがレベル低下になるとポンプ自身の外部端子より警報を発します。詳しくはMP型ポンプの取扱説明書をご参照ください。

—以 上—